

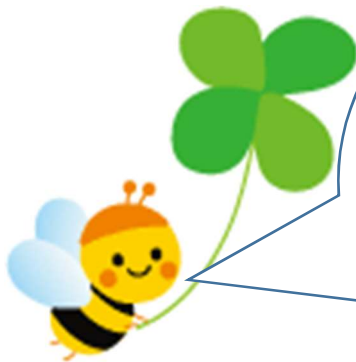
# 園内研修教材 (あるある研修Ⅱ)



あなたなら、どう考えますか？



他の保育者は、どう考えるのでしょうか？



幼児教育施設の日常において“よくある出来事”について、“あるある”と題した「園内研修教材（あるある研修Ⅱ）」を作成しました。

短い時間でも、少人数でも実施できますので、是非御活用ください。



北海道教育庁義務教育課幼児教育推進センター

【併任課】総務部学事課・保健福祉部子ども政策企画課

## ■ はじめに

- 幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、高い専門性と職業倫理によってその教育活動を支える保育者の皆様に対しましては、心より感謝申し上げます。
- なお、幼児教育の質向上のために各園におかれましては、保育参観・講義・協議・演習・幼児教育相談員の活用等様々な形態により園内研修を実施し、適切な援助を行うための実践的指導力の向上に取り組んでいただいているところです。
- 昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大により、外部講師の招へいや公開保育の実施が難しいことや、コロナ対応をはじめとする業務増等の影響から、日々忙しく研修時間の確保といった点も課題の一つであると思います。
- 本資料は、そうした状況において、研修を計画しようと思いつながらもどう実施しようか悩み、迷っている幼児教育施設の一助となればと考え作成しました。

**幼児教育の質を向上するためには、保育者同士が語り合い、気付き合うことが第一歩であり、とても大切なことです。**

**各幼児教育施設には、本資料の事例と類似した場面がたくさんあると思いますので、本資料の中から各幼児教育施設の実態に近い事例について、保育者同士が「語り合うきっかけ」として活用いただき、研修を重ねていただければ幸いです。**

## ■ 活用にあたっての留意事項

- 各幼児教育施設の実情は、環境や施設、子どもたちの状況も様々です。  
まずは自園の状況を職員全体で把握し、できることから工夫して取り組んでみましょう。
- あるある研修教材には、「年齢設定」がされている事例もあります。自園の状況に応じて、「異なる年齢」についても協議してみましょう。
- 保育者同士が語り合い、気づき合うことに加え、その根底にある幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の3つの柱や5領域等の教育活動の拠り所を意識するようにしましょう。

# 本教材を活用した園内研修のイメージ




## ■ 研修概要

所要時間	<ul style="list-style-type: none"><li>・ おおむね 30 分で実施可能な内容となっています。</li></ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none"><li>※ 各幼児教育施設の状況に応じ、以下のような工夫も考えられます。</li><li>・ 個人思考、グループ協議等の時間を分けて、10 分程度ずつ実施する。</li><li>・ 全員が同じ時間帯に実施できない場合などは、書面で全体共有する。</li></ul></div>
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 個人思考、グループ協議、全体共有</li></ul>

## ■ 協議のポイント

否定しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相手の意見を頭から否定しては考えが広がりません。</li><li>・ 違いに気づき、お互いの考えを尊重しましょう。</li></ul>
司会の役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自由に意見を言える雰囲気づくりを心がけましょう。</li><li>・ 経験の浅い職員から順に発言するようなルール設定も 1 つの方法です。</li><li>・ 全体の様子を把握し、偏った職員だけが発言することのないよう必要に応じて声かけをしましょう。</li></ul>
グループ分け	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 担任する学齢ごとのグループにするか、あるいは経験年数の違いをどのように組み合わせるかなどグループ設定は重要です。</li><li>・ 研修テーマや職場の状況に応じグループを編成し、毎回同じメンバーではなく、できるだけ多くの職員と交流できるようにしましょう。</li></ul>
協議のゴール	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 協議（話し合いに）1 つの正解があるわけではありません。</li><li>・ 感じたことを出し合い、違いや共通点を確認し自身を振り返ることが大切です。</li></ul>

## ■ 研修イメージ

はじめに	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修テーマを選ぶ。</li><li>・ グループに分かれる。（必要に応じて、司会・書記を決める）</li></ul>
個人思考 (5分程度)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>研修資料 1</b> を配付する。</li><li>・ ワークシートの「<b>協議のポイント</b>」について個人で考える。</li></ul>
グループ協議 (15分程度)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分で感じたこと・意見を全員が発言する。</li><li>・ グループで協議した内容を 2～3 点にまとめる。</li></ul> 
全体共有 (5分程度)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 各グループの代表者が、気づきやポイント等を発表する。</li></ul>
さいごに 事例園での 取組 (10分程度)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>研修資料 2</b> を配付する。</li><li>・ 「事例園での取組」や「ワンポイント」を参考に、新たな視点から自園ではどのような工夫ができるかなどを検討する。</li><li>・ 必要に応じて、園長などから講評・アドバイスを行う。</li></ul>